

## 仙南圏域（白石市、角田市、蔵王町、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町）

### 圏域の観光の現状

- 現状では蔵王は山形のイメージが強く、蔵王のブランドを活かしきれていない。
- 各宿泊施設や観光施設それぞれが単独で頑張っているが、地域全体としての誘客活動が弱い。
- 弱みだった点在する観光資源も、発想を転換し、密にならないという発信方法は良い発想。
- 「みやぎ蔵王三十六景」を活用した食と観光のブランド化の取組は、仙南として良い取組。

### 圏域の観光の課題

- 全国、海外では山形蔵王のイメージが強く、みやぎ蔵王ブランドとしての差別化が必要。
- 蔵王は首都圏若者に対して知名度が低い。県民と首都圏の認識の違いを意識する必要。
- 近くの客に蔵王の魅力を再認識してもらえる取り組み。仙台をマーケットとして捉える。
- 各観光施設間、農業・宿泊業・観光業・製造業など部門間、及び交通ネットワークとの連携。

### 圏域の施策の方向性及び取組

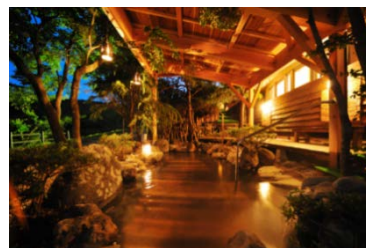
- （１）当面、近郊観光需要の取り込みにより、事業者の事業継続・雇用維持を図るとともに、with コロナ時代に求められる新たな観光価値（No 密、安全安心、健康 等）の提供に向けて、従来からの強み（温泉、自然（みやぎ蔵王）、アクセス（仙台近郊、新幹線、空港））に加え、点在する多様な観光資源・過度に混雑しない観光施設等、これまで弱みとされてきたものも、この変革の機会を捉え強みに転換
  - 安全安心対策コストへの支援、安全安心対策（具体的な取組み）の情報発信【短期】
  - 少ない収容人数・売上の中で利益を出すための経営体質改善や新たなビジネスモデル転換への支援【短期】
  - 行政側で支援メニューを用意するのではなく、事業者がやりたいことに対する支援【短期】
  - MaaS と関連付け、密や混雑にならない安全・安心情報の共有・ネットワーク化【短・中長期】
  - 温泉街活性化、イメージ向上、バーチャル観光を動画配信、朝型観光へシフト【短・中長期】
  - 温泉ワーケーションへの環境整備、ワーケーション・移住希望者への情報発信【短・中長期】
- （２）まずは地元の方々に地元の良さを知ってもらい、次に仙台、県内、隣県からの誘客促進。地域にある資源の掘り起こし、磨き上げと、それらを結び付けたPR等により、見ていただく、買っていただく実需につなげ、地域に利益を還元
  - 宮城県民が県内を周遊するキャンペーンの実施【短期】
  - 仕事での来訪者を通じた”安全安心“の情報発信、広告塔としての活用【短期】
  - 将来的なインバウンドや国際交流の観点から、生活困窮外国人留学生対象ツアー等【短期】
  - 宿泊、交通など観光関連事業者間の連携強化【短・中長期】
  - 体験・「コト」消費の推進、サイクルツーリズムの呼び込み【短・中長期】
  - 仙南地域の一体的なポータルサイトによる情報発信、仙南地域 EC サイト立上げ【短・中長期】



みやぎ蔵王 御釜



一目千本桜・船岡城址公園  
(大河原町・柴田町)



みやぎ蔵王温泉郷  
(白石市・蔵王町・川崎町)